

GOVERNOR'S MONTHLY LETTER



Rotary International District 2780
2024 - 2025

2024-2025年度ガバナー 佐々木 辰郎

RID2780地区テーマ

ロータリーのマジックを行動で示そう!



第1グループ <ピンクリボンよこすか2023でライトアップされたティボディ邸>
1869年(明治2年)に建築された本州で最古級の西洋館(横須賀製鉄所副首長邸)

クラブ会長・幹事の皆様、 そしてクラブ会員の皆様へ

国際ロータリー第2780地区
2024～25年度ガバナー

佐々木 辰郎

(大和田園RC)



『国際ロータリーの改革』

今年度より国際ロータリーは数多くの大きな改革を実施致します。

その中で最も大きな改革としてクラブ運営に対し継続性の考えを大幅に取り入れようとしている事です。

今までロータリークラブは単年度制を基本として実践して参りました。しかしながら単年度での目標を実行した結果を検証する事もなく次年度へ移行することが多くでありました。

この様な考えを見直し今年度より3年間のグローバルトライアルを設定し、実行する考えが提案され、そして実行に移す決定がなされました。

2024年7月1日より、クラブに対する3年間の目標とローリングターゲットプラン（継続的目標設定）を実行することが決定されました。

ただし毎年（3年間）の見直しを行うことを基本とするとされています。

3年間の目標入力と管理は現状のクラブセントラルで行って頂き、更に3年間の入力を可能にするため、現在クラブセントラルを改造中とのことです。

3年間の目標を設定する為には向こう3年間の会長候補者や理事会を巻き込んだ議論が必要と考えます。

是非各クラブに於いて至急本ローリングターゲットプランを議論頂くようお願い申し上げます。

また、より継続性を確保する方法をクラブの新しい文化として取り入れる事が必要だと考え

ます。

いずれに致しましても3年間の目標をベースに毎年目標の達成度を検証し、必要に応じて次年度以降の目標を再設定する必要が生じるかもしれません。また四半期毎の進捗状況や達成度の管理も併せて必要と考えます。

これらの改革はクラブの発展と活性化のために行う事とご理解ください。私たちが時代の変化とともに具体的に変化していくために、国際ロータリーの提唱するこの方法を「新たな挑戦のチャンス」と捉え実践してみましよう！

現在までにロータリーは数多くの改革を実践してきました。

DLP、CLPに始まり中核的価値観の導入や未来の夢計画そしてEクラブの導入、衛星クラブの導入等数多くの改革を経て現在のビジョン声明や戦略計画に繋がったと考えています。その結果を評価、反省して次の思索への繋がりと考えていると考えます。

この様に多くの先達がより良いロータリー活動に繋げるために多くの改革と変革を経て、今日の3-YEAR ROLLING TARGETに繋がっていると思います。

是非この様な改革への動きをご理解頂き、各クラブでの計画を立案し「3-YEAR ROLLING TARGET」に向けての第一段階として、まずはクラブセントラルへの100%入力をお願い致します。

そして本年度が素晴らしい活動の1年になるようお互いに努力致しましょう！

宜しくようお願い申し上げます。

『会員増強月間に寄せて』

地区会員増強・拡大維持委員会
委員長 山田 嗣
(鎌倉中央RC)



今年度のテーマが Magic of Rotary というのは皆様ご存知かと思えます。その意味する所は佐々木ガバナーが各クラブをお回りになり、説明されると思えますので、会員増強・拡大維持に関して、Magic of Rotary を踏まえ、今年度の掛け声を Get Happy!! にしたいと思います。

幸せにして Make me happy ではなく、幸せでいよう Be happy でもなく、Get Happy!! 幸せを掴もうです。ロータリーのマジックが実現すれば、現在の会員のみならず、新しくクラブに入ってくる方々、様々な奉仕活動の受益者の方達、全ての人が幸せになれるのではないのでしょうか。ロータリーに入会し活動する事が幸せを掴む端緒となれば、これ程嬉しい事はありません。

もちろん、幸せを掴むということは簡単な事ではありません。人生の究極の目標と言っても過言ではないでしょう。誰もがここに向かい、日々厳しい現実と向き合っておられる事と思えます。そんな中簡単に幸せになろうというのは、夢想家で無責任な立場の戯言に聞こえるかもしれません。

しかし、ヒントは結構身の回りにあります。例えば最近良く言われているコトの消費。モノの所有ではなく、体験から得られる満足感です。美味しい物が食べられれば誰もが笑顔になります。温泉に浸かって「極楽、極楽」と独言するのは、日本人共通の原風景と言えるでしょう。その他にも良い睡眠が得られれば、幸せに感じられると言います。とは言っても、卓話の時間

の有効利用にはされないようご注意ください。

これに時間軸を加えていくと、ちょっと面白いと思える事に出会いました。短期的な視点では、抑うつやストレスを感じ易い事柄も、中長期的な視点からは、一時的な抑うつはより受け入れ易く、避けようというプレッシャーも小さくなるという事です。物事の先送りが良いとは言いませんが、一つの防衛本能として適切に処理すれば、未来に対してのしっかりした目標に向かって、着実に歩を進められるということではないでしょうか。中長期の視点が備われば、一喜一憂せずに今ここでの経験を味わう余裕ができると言われております。

大きな達成は勿論素晴らしい事ですが、小さな幸せの積み重ねも負けず劣らず素晴らしい事です。クラブの実情にあった形で今何ができるか、将来はどうしたいのかを考えてみては如何でしょうか。そのための話し合いを例会中に限らず、様々な角度から、多くの機会を持って頂けたらと思います。

最後に会を引っ張るリーダー役の皆様へ。色々大変な事もあるかと思えます。でもせっかく出番が回ってきたのですから、楽しく役割を全うしましょう。楽しくするのは誰でもなく、自分自身です。

そして自分の為ではなく、クラブの為に奉仕して下さい。

昔からよく言われているように、「最もよく奉仕する者、最も多く報いられる」です。

一年間頑張りましょう。

CONTENTS

ガバナーメッセージ	2
会員増強月間に寄せて	3
クラブラーニング委員長フリーディスカッション会議	4

委員長挨拶	5
青少年交換結団式・歓送会	13
第1グループ・クラブ紹介	14
新会員紹介 他	16

『クラブラーニング委員長フリーディスカッション会議』

地区ラーニング委員会

副委員長 **市川 洋**

(ふじさわ湘南RC)



～地区で初めての試み 20クラブ参加～

2024年7月2日(火)15:00から90分間、相澤ビル8階において地区初めての資料なし、導入レクチャー無しで、最初からクラブの情報交換をする目的で開催しました。テーマは「クラブラーニング委員会が今までにやって来た事&これからの計画」です。入室時の受付でテーブルA～Dの4ブロックのいずれかに着席するように指定させて頂きました。テーブルごとにファシリテーターが司会を務めました。当日その場で急に指名され方がおられたなど、初めての事でご迷惑をおかけしましたが、そこは皆様誇り高きロータリアンでして、4ブロックで活発な議論がなされました。

私が参加したブロックでは一人当たり5分くらいの持ち時間を2回転、あとはランダムに情報交換がなされました。全員から事例発言とこれからの予定などの発言があり、資料を準備し

て頂いたものもあり、大きな成果であったと思います。有効な資料や発言頂いた情報は、地区ラーニング委員会が後日取りまとめ、報告書として地区内全クラブに配信いたします。各クラブが参考にして頂きたいと存じます。一例として、「ポリオを大きな国際ロータリーの奉仕活動に発展させた原点が東京麹町ロータリークラブの南インドにおけるポリオワクチン投与の奉仕活動であったという資料」や、「ロータリー用語集」・「ロータリークラブに入ろう・田中久夫著」などが事例としての情報がありました。

参加された皆様のご協力により素晴らしいフリーディスカッション会議でした。最後に今後の地区ラーニング委員会が主催するセミナーなどへの協力を求めました。適時ご連絡させて頂きますのでよろしくお願い致します。

またこのような企画がありましたらご協力を賜りたく、よろしくお願い致します。



地区戦略計画委員会

委員長 相澤 光春 (ふじさわ湘南RC)

ステファニー A. アーチックRI会長はロータリーの行動計画を推進し、『継続と変化』のバランスを取ることの必要性を強調。



そして、行動計画の原動力であり、好ましい変化をもたらす方法にクラブで多様性、公平さ、インクルージョンの原則、DEIを受け入れることにより、ロータリーは最も効果的で時代に即した存在になると述べられています。

《行動計画の推進者について》

- ロータリーの行動計画（アクションプラン）優先事項4つの目標についてクラブで話し合い、その結果を基に独自の戦略を立てていただき、奉仕のプロジェクトに繋げていただきたい。
- 継続性について行動計画の3か年計画（3-Year Targets）の策定のお願いを地区・クラブに促進しております。
- 地区、クラブにおいてこの役割を担う推進者、Action Plan Champion（APC）の選任を推奨しております。

地区ラーニング委員会

委員長 田中 賢三 (茅ヶ崎RC)

『ロータリー教育文化の ルネサンス』

研修はトレーニングからラーニングへ、クラブも地区も変わります。ロータリーは社会の多様性時代に適応しようとしています。3年毎に世界に発表されている推奨ロータリークラブ細則は、手続要覧（2022年版）本文は約2ページ、表現を変えればA4 1枚のみです。標準ロータリークラブ定款の例外規定により、クラブが独自に書き込む範囲が非常に自由度の高いものになって来ていま



す。ロータリーの手続要覧の定款細則規定文書の前に①ロータリーの基本理念と②ロータリーの行動計画が掲載されており、これらが現代ロータリー運動の2つの柱であります。言ってみれば基本とHOW TOです。基本（ロータリーの本質）を大切にしながらHOW TOをクラブの多種多様の優れた意見を聞き、お互いに学び合ひましょう。そしてロータリー全体の革新を図って行き、実際にアクションを起こして行こうとするものです。誇り高いロータリーへと更に高みを目指すために！

地区危機管理委員会

委員長 岡田 英城 (横須賀RC)

『危機管理について』

「国際ロータリーは、ロータリーの活動に参加するすべての青少年のために安全な環境をつくり、これを維持するよう努める。ロータリー会員、その配偶者およびパートナー、その他のボランティアは、接する児童および青少年の安全を考え、肉体的、性的、あるいは精神的な虐待から身の安全を守るため、最善を尽くす責任がある。」という声明を出しています。



長年にわたって青少年への奉仕を行ってきました数多くのクラブや地区によるメンタリング（個人指導）などのさまざまな活動は、若者や社会的に弱い立場にある人びとを支援することを目的としています。

しかし、どのような団体やプログラムでも、虐待の問題や危機的状況が起こる可能性があります。青少年との活動に熱心な大人の多くは、自分たちに寄せられた信頼を悪用しようとする人がいるなど思いもしません。国際ロータリーは、青少年保護を非常に重大な責任として受けとめています。虐待を防ぎ、虐待があった際に適切な対応を直ちに取れるような安全な環境をつくれるかどうかは、私たちロータリー会員にかかっています。

また青少年活動だけではなく、ロータリー会員同士においても、ひとりひとりが危機管理について意識をもち誰もが安心して活動ができる組織を築きあげていきましょう。

委員長挨拶

姉妹地区委員会

委員長 田島 透 (ふじさわ湘南RC)

当地区はロータリー第3662地区（韓国済州島地域）と友好地区を締結しています。過年度では両地区のグローバル補助金奉仕活動や地区補助金を活用した中学生交換交流会、女性会員同士の文化交流等の活動を行っています。今年度も姉妹地区として一層の交流と親睦を図りたく、委員会活動を推進していきます。



《委員会活動》

1. 第3662地区との相互交流と親睦を深め一層の信頼関係の構築
2. 姉妹地区のHPを開設し、第3662地区の活動を紹介
3. ZOOM交流会（年二回予定）を実施
4. 第2780地区内クラブと第3662地区内クラブとの交流支援
5. 相互地区大会への参加による交流・親睦の推進
6. その他委員会により推進する活動

ロータリーの友地区代表委員

田中 哲 (鎌倉大船RC)

『友 購読から愛読へ』

2024-25年度「ロータリーの友」地区代表委員としてガバナーに代わり「友」に関しての活動を務めさせていただきます。「友」の発刊部数は多いのですが、残念ながらあまり読まれていないと聞いております。購読とは購入し読むこと、決して積んでおくことではありません。全国様々なクラブでどんな活動を進めているのか、世界のロータリーの状況など、是非とも購読（好読）し愛読者になっていただきたいと



思います。そのためにも各クラブの活動報告や、ロータリーのプログラムに参加している方々の紹介を取り上げてまいります。インターアクター、ローターアクター、青少年交換学生など若い世代の活動情報もお待ちしています。また、「ロータリーの友」電子版では自クラブの歴史などアーカイブも検索閲覧できますので、『クラブ週報』『クラブ会報』へ掲載ください。今年は第2780地区内「友」卓話にも足を運びますので、是非お呼びください。一年間よろしくお願いいたします。

地区クラブ管理運営委員会

委員長 蜘蛛 匠 (伊勢原平成RC)

『クラブの活性化の為に』

地区クラブ管理運営委員会は、クラブの活性化の為にサポートをしたいと思います。

委員会の役割として4つあります。1つ目はMy Rotaryの登録率アップキャンペーン、これはMy Rotaryへの御理解と活用の支援。2つ目に新会員のつどいの実施、これは入会3年以内の新会員の方々への研修と他クラブ会員との交流によりロータリーを理解頂き親睦を深め、会員維持としての支援。3つ目に次年度幹事研修、年度終盤に次年度へ向けての次年度幹事のスキルアップの支援。4つ目にHP上のよろず掲示板の運営、これはクラブに寄り添い、クラブで抱える悩みや疑問について共に考え解決していくことでの支援です。

ロータリーを楽しみながら学んで元気なクラブづくりのお手伝いをしていきます。1年間宜しく御願い致します。





地区公共イメージ委員会

委員長 松下 力 (ふじさわ湘南RC)

『変革の良い機会と 捉えた委員会運営』

2024-25年度、地区公共イメージ委員長を仰せつかりました松下力(ふじさわ湘南RC)でございます。

本年度、地区公共イメージ委員会が取り組む活動内容を、前年度(2023-24年度)を振り返りお伝えいたします。



■前年度までの役割、活動内容

地区やクラブが取り組む様々な奉仕プロジェクトを、地区公共イメージ委員会が取材のため現地まで足を運び、写真や動画、テキストをSNSに投稿、発信する!…<SNS投稿、発信の代行>

■本年度からの役割、活動内容

地区とクラブが取り組む様々な奉仕プロジェクトの投稿・発信を、地区やクラブが独自に実践できる仕掛けをし、仕組みを作る!…<SNS投稿、発信のサポート>

委員会の構成人数が半減した事を「変革の良い機会」と捉え、委員会の役割を、「地区内のクラブへのサポート!」という本来の役割に立ち戻ります。

そして2024-25年度が初年度となる「3-Years Rolling Target/Plan」の土台作りを、地区内多くのロータリー会員の方々と取り組んで参る所存でございます。

皆様、どうかご指導・ご鞭撻宜しくお願いいたします。

地区ホームページ委員会

委員長 義澤 彰 (相模原西RC)

『地区ホームページのご利用を』

本年度、引き続き地区ホームページ委員長を拝命しました義澤です。

地区ホームページには2種類の窓口があり、一つはロータリークラブについて知らな



い、もしくは知りたいという方用の一般向けホームページ。もう一つは、地区内のロータリー会員が、地区の情報やロータリー活動に必要な情報をいち早く知れる、又は得られるホームページとなっております。

是非皆様には日頃からホームページをご利用いただき、またはご利用している中で改善点などが御座いましたら、地区ホームページ委員会までご指摘ください。

また各クラブの活動をホームページ上にアップすることも出来ますので、報告したい事業、告知したいことなどがありましたらご連絡ください。

本年も引き続き地区ホームページをブラッシュアップしていき、皆様が使いやすい、見やすいホームページを目指して行きたいと思っております。宜しくお願いします。

オンツー・カルガリー国際大会委員会

委員長 松下 孝 (伊勢原RC)

『カルガリーで お会いしましょう』

シンガポール世界大会にご参加頂いた皆様ご苦労様でした。5月末でありながら酷暑でしたが東南アジアをリードする国ならではの活気に溢れた大会でした。さて、2024-25年度の国際大会はカナディアンロッキーの麓、カナダ・カルガリーで2025年6月21日～25日に開催されます。1988年に冬季オリンピックが開催されるほどウィンタースポーツが盛んです。大会が開催される6月は夏とはいえ平均14℃とシンガポールとは一転して爽やかな高原の気候となります。

オンツー・カルガリー国際大会委員会では、例年に負けないように楽しい地区ナイトを開催する予定です。自然豊かなカルガリーの地で第2780地区の方々の懇親をより深めたいと思っておりますので、大勢の方のご参加をお願い致します。



委員長挨拶

会員増強・拡大維持委員会

委員長 山田 嗣 (鎌倉中央RC)

委員長を仰せつかり2年目を迎える事ができました。昨年度はRCで180名超、RACで10名超の新規会員を得ました。これも単にクラブの皆様の協力と地区の皆様のご理解によるものと、厚く感謝申し上げます。退会者が多くなってしまった事が残念ですが、今後の課題とさせていただきます。



基本的には前年度と同じ方向性である、クラブ主体による会員増強、拡大維持に努めて参りますが、今年は一段進めて、Get Happy!!という表現で進めたいと考えております。詳しくは「会員増強月間に寄せて」で書かせて頂いておりますので、そちらをご参照下さい。

地区の体制・方針の変化で手探りの状態が続くかもしれません。皆様にはご迷惑をお掛けすることがあるかもしれません。しかし根本は変わりません。クラブのためにクラブの活動をサポートするための地区委員会です。相談事等がありましたら、お気軽にお声がけ下さい。皆様と一緒に幸せを掴みましょう。

地区職業奉仕委員会

委員長 前沢 弘之 (津久井中央RC)

『職業奉仕の真価』

あちらこちらで「変革」が叫ばれています。激変する時代から置いてけぼりを食わないために。私達のクラブが、地域社会で確固たる社会的存在であり続けるために。



他方、先人から受け継いできた大事なものは、時代に流されずに、しっかり踏襲していかなければなりません。理念なき変革は、その場しのぎにしかならないでしょうから。

職業奉仕は、もう長いこと、その狭間でその真

価を問われ続けているように思います。難しい時に委員長再登板となってしまいましたが、意を新たに、今年度は、クラブ委員長はじめ、皆さんと共に作り上げる事業活動を試行してみたいと考えています。但し、これは皆さんのご助力と忌憚のないご批判なくしては、全く成り立ちません。委員一同、今こそ職業奉仕の真価を示さねばと意気込んでおりますので、どうかご協力の程、切にお願い申し上げます。

地区社会・国際奉仕委員会

委員長 田中 重光 (茅ヶ崎中央RC)

『新鮮で効果のある奉仕活動のきっかけづくり』

昨今の気候変動により大雨災害などはいつどこで発生するかわかりません。



年初に起きた能登半島の地震で未だに不自由な生活をせざるを得ない多くの方々があります。

私たちの住むエリアも近いうちに地震は起きる可能性は高いでしょう。

世界では常に貧困や紛争などで困っている人が多くいます。環境保護もとても重要な分野です。

今、私たちのまわりや世界で必要とされる新鮮で効果のある奉仕活動を各クラブが取り組むのに役立つよう、前年度立ち上げた「国際奉仕リソースネットワーク」を充実させたり、クラブで行っている奉仕事業を他のクラブにも紹介し、それを知ることにより新たな奉仕活動のアイデアが生まれるような情報発信や啓蒙活動を行う所存しております。

この同じ年度に、各クラブで奉仕部門にたずさわる方々と当委員会ができるだけ接点を持ち、時には他の部門にも協力をお願いし、奉仕の輪を広げていきたいと考えておりますので、ご理解とご支援のほどよろしくお願いたします。

地区インターアクト委員会

委員長 匂坂 祐二 (逗子RC)

『楽しく充実した
活動を目指して』

本年度、地区インターアクト委員会では、アクター（生徒）が主体的に楽しく充実した活動ができるように取り組んでいきます。当地区では現在、12校のインターアクトクラブがあります。事業としては、海外研修（台湾）、RYLA研修、年次大会、新世代交流会、サマーミーティング（ポリオ募金活動）、そして毎月開催するアクターズミーティングでは、インターアクト学友会にも協力して頂き、アクターの活動サポートをはじめ、より交流が図れるように様々な企画（アイスブレイク等）を行っていきます。アクターズミーティングの内容としては、海岸清掃や講演会、国際理解に繋がる企画等を実施していきます。年間の活動を通して、アクター同士の交流、学校間の交流を図ることを大切に、社会奉仕と国際奉仕を通じて行動し、新しい文化を発見し、世界市民として国際理解を促進し、学校と地域社会におけるリーダーとなるためのスキルを養うことができるように努めて参りますので、ご理解、ご協力の程、宜しくお願い致します。



だね」と言われることがあります。

しかし実際は約1年間に渡る子どもたちとの関わりの中で、つぶさに成長を感じることができ、私たち大人も自らの成長、そして感動を得ることができます。

前年度の第4グループのIMでは「来日学生スピーチコンテスト」をさせていただき、多くの方々に感動をお届けできたのではと思います。

今年度も昨年同様募集を行います。

「小さな親善大使」をサポートしていきたいと思えます。

委員会メンバー一同全力で取り組みます。

皆様のご理解、ご協力をお願い申し上げます。

地区RYLA委員会

委員長 浅場 智彦 (鎌倉RC)

『RYLA（ライラ）って何？』

RYLA委員会のRYLAとは、Rotary Youth Leadership Awardsの頭文字をとってライラと読みます。馴染みが無いという方も多いのではないのでしょうか。



国際ロータリーが提唱している青少年奉仕事業の一環としてリーダーシップについて学び、自己研鑽の場を提供するプログラムです。

第2780地区においては、一昨年に20年ぶりに開催し、昨年度も開催され、今年度で3回目の開催となります。今年度の、RYLAは、昨年同様、各ロータリークラブまたは地区が実施する青少年奉仕プログラムに関わる若い人達が対象となります。インターアクター、ローターアクター、青少年交換留学生、米山奨学生など多くの若い人達が集い、新しい友人をつくり、楽しみながらリーダーシップのスキルを磨く一泊研修プログラムとなります。今年度の開催日程は、2025年3月22日～23日の予定です。多くの皆様のご理解とご協力を宜しくお願い申し上げます。

地区青少年交換委員会

委員長 遠藤 秀樹 (足柄RC)

『「小さな親善大使」
との関わり』

毎月第1土曜日の午後1時から5時まで委員会とオリエンテーションを行い、募集対応と選考試験、ホストクラブ・ファミリー・スクールとの連携、行事のアテンド、そして来日学生と派遣候補生の安全を守る私ども委員会は「大変な委員会



委員長挨拶

地区ローターアクト委員会

委員長 角井 駿輔 (横須賀RC)

『ローターアクトの夜明け』

ローターアクトクラブがRIの加盟クラブになってから早幾年、この間、新型コロナウイルスの流行に伴い、各種の活動制限を強いられていたローターアクトクラブですが、ロータリー章典等の改正に伴い、多くの権利が与えられた結果、これまでにない大規模な奉仕活動を行えるようになりました。

他方で、ロータリーとローターアクトの関係についてはその複雑さからか、ロータリアンの中に少なからぬ誤解が見受けられます（ロータリアンとローターアクターは同等になった、今後ローターアクターには経済的援助は不要である等）。

RCとRACの相互理解のため、是非ローターアクトクラブを提唱されていないクラブの皆様も地区委員会にいらしてください。先般、地区内全クラブに対して委員会の開催案内を差し上げた趣旨はこのようにご理解ください。

世の中を変えるのは、いつの時代も若い力です。今後永続的にロータリーが発展するために皆様のお力をお貸しください。



地区ロータリー財団委員会

委員長 田島 敏久 (相模原西RC)

1905年2月23日 PAUL HARRISは、異業種3人の仲間と協力して、当時アメリカ社会は変動期で、特に、CHICAGOでは犯罪、汚職、悪徳商法、貧困が見られる社会で仕事上での互助組合的で助け合い、余裕があれば、社会奉仕をということで、世界最初の奉仕クラブ【ROTARY】を創始しました。

6人目のRI会長であるアーチ・クランフは1917年アトランタ国際大会で世界的な規模で慈善、教育、その他社会奉仕事業分野で「何か良い



事をしよう」と提案して基金が作られ、1928年国際大会でROTARY財団となり、現在に至っています。

ROTARY財団の役割は、財団の理念とその仕組みをCLUBに対して理解を促進する。①ROTARY財団の地区補助金、GLOBAL補助金を理解し活用を促進して、CLUB会員全員が参加する奉仕PROJECTをめざす。②奉仕活動推進のためのROTARY財団への年次寄付等、地区目標をCLUB会員に理解してもらうことです。以上の意図するROTARY財団への理解と奉仕活動推進をお願い致します。

財団補助金委員会

委員長 柴田 直明 (小田原北RC)

『心に期して 未知への挑戦』

中委員会の財団補助金委員会は大会委員会のロータリー財団委員会と共に、財団補助金関連の5つの小委員会をまとめてフォローしていく責務があります。前年度はこの委員会の副委員長として初めて財団奨学生などに関わりました。今年度は委員長として、心に期して動いていかなければならないと思っております。

今年度は財団関連委員会の委員が半減しております。例えば補助金配分・VTT委員会は10人が5人、補助金管理委員会も10人が5人、その他も同様の人数減少になっております。委員長についても、全ての委員長が初めの着任になります。経験がある委員長がいる委員会であれば、安心もできるものですが、6年を超えた委員長ばかりで退任し、一人で財団セミナーの内容を考えているとイヤになって来ます。

コロナ禍が明けて前年度の地区補助金は27クラブの申請と26クラブ承認は過去最多となりました。補助金管理委員会は1人5クラブ以上を担当して完了報告書提出までお世話をします。補助金配分・VTT委員会は30クラブの申請が来たらどうしましょう。1人6クラブを担当しなければなりません。これは無理です。財団関連委員会で



違う委員会の責務をフォローしていくしかありません。私は補助金配分ばかり経験して来ましたが、初めての試みで、未知への挑戦をしていきます。

補助金配分・VTT委員会

委員長 柳井 渉 (小田原城北RC)

『クラブ活性化の為に
補助金を利用しましょう』

ロータリー財団は、「世界で良いことをしよう」の標語のもと、クラブの奉仕プロジェクトを支援するための補助金制度を提供しています。補助金は地区補助金とグローバル補助金の2つがあり、地区補助金は、ロータリー会員が積極的に参加する幅広いプロジェクトを柔軟に支援します。グローバル補助金は、ロータリーの7つの重点分野のいずれかに該当し、長期にわたり持続可能で人道的プロジェクトに支援をします。

当委員会は会員の皆様から寄付して頂いた浄財をクラブから申請されたプロジェクトを審査し補助金を配分する委員会です。申請されたプロジェクトの内容をロータリー財団の趣旨に沿っているかを確認し、申請のお手伝いをします。昨年度は今までで最多の27件の申請があり26件が補助金承認されました。今年度も多くのクラブが補助金を使用した奉仕活動を行いクラブの活性化に役立つ下さい。



予定しております。是非ご参加いただき、多くのクラブに補助金を活用いただきますようご案内申し上げます。

地区補助金は、我々がおこなった財団年次寄付金が3年後に地区に戻ってくるシェアシステムが採用されており、本年度は田島透ガバナー年度の寄付金を基にプロジェクトが実施されます。過去最高となる28クラブ（共同プロジェクト含む）より26のプロジェクトが承認されており、中でも5クラブ、3つの事業は海外での奉仕が予定されております。

皆様のプロジェクトが成功裏に完遂されますよう祈念申し上げますと共に、完了報告書提出まで宜しくお願い致します。

財団資金推進委員会

委員長 富岡 弘文 (大和RC)

『Every Rotarian Every Year』

国際ロータリーとロータリー財団は、クラブと会員が大きな成果を得ることを支援する車の両輪なのだと思います。その財団の資金は会員の寄付のみで成り立っているの



で、寄付自体が奉仕活動と言えるでしょう。我々の寄付がどのように活かされているか理解を深め、誇りをもって寄付出来るように努めます。

佐々木ガバナーのもと年次寄付等の目標は一人200ドルです。委員長として目標達成に最善を務めます。一方で、財団寄付には個人の認証とクラブの認証があり、「財団の友」は100ドルを寄付した方について、本人のマイロータリー内で「Sustaining Member」として認証しています。クラブ表彰の100%「Every Rotarian, Every Year」クラブは全会員が年次基金へ少なくとも25ドルの寄付をすることが要件です（詳細は地区ホームページに収録している「ロータリー財団ハンドブック」を参照）。25ドルでも意義はあります。クラブに寄付ゼロの会員がいないことも目標にしたいと存じます。

補助金管理委員会

委員長 鈴木 大次 (藤沢RC)

『地域でよいことをしよう！』

当委員会は、各クラブが地区補助金を使って行うプロジェクトに関して、補助金の入金から財団の監査が終了するまでの期間、書類などの手続きに関するお手伝いをする委員会です。また、7月・明年2月には補助金管理セミナー、10月・明年1月には地区補助金説明会を



委員長挨拶

平和フェロー・奨学金委員会

委員長 大箭 剛久 (茅ヶ崎RC)

『皆様からの寄付が未来の
リーダーを育てています』

平和フェロー・奨学金委員長を仰せつかりました大箭です。あまり見慣れない字なので、最初は「おおまえさんですか」とか、下手をすると変換間違いで「大爺おおじい」などと書かれることがあります。まずは名前を憶えていただくところからよろしく願いいたします。



さて、今年度のステファニー・アーチックRI会長は平和の推進を大きな柱として掲げており、佐々木ガバナーも平和フェローの認知度を上げていきたいとのご意向です。まずは皆様に平和フェローについて関心をお持ちいただけるよう、情報発信に努めてまいります。また、皆様からの財団寄付の一部は財団奨学生の奨学金に充てられます。毎年、優秀な学生達が未来の夢に向けて羽ばたいていきます。これら学生達の研究成果を発表する帰国報告会が毎年2月に開催されますが、是非多くのロータリアンの方にご参加いただけるよう計画したいと考えております。何卒よろしく願いいたします。

ポリオプラス委員会

委員長 村上 進 (藤沢東RC)

『ポリオ根絶』

今年度、ポリオプラス委員会の委員長を拝命しました藤沢東RCの村上 進と申します。一年間宜しく願い申し上げます。



ポリオ根絶はロータリークラブの最優先事項です。全世界でポリオ根絶を実現するため。世界中のロータリー会員が活躍しております。今年度も各クラブにおいて、ポリオ根絶がロータリーの最優先事項という事をご理解頂く活動をして参ります。ポリオ根絶の重要性を会員一人一人が理解し「END POLIO NOW」の募

金活動を各クラブ年1回以上の実施をお願い致します。また、上記の事をご理解の上、一人40ドルのポリオ寄付お願いしたいと思います。その為に委員会として何が出来るかを検討し、各クラブのサポート、支援をと考えています。

また、10月24日は「世界ポリオデー」です。第2780地区として、もしくは各グループでのイベントも検討したいと思っております。

もう少しです。あと2カ国、何とかゼロにしたいところです。各クラブ、会員一人一人に「活動と寄付」のご協力をお願い申し上げます。

地区米山委員会

委員長 齋藤 秀人 (横須賀RC)

『みんなの夢をかたちに！
米山記念奨学会』

米山記念奨学会は勉学と米山梅吉公の精神を通じで、日本に留学している外国人留学生に対して、さらに自学研鑽の後押しする事である。また、学友としての活動は奨学生の模範となり、本来の米山記念奨学会の目的である"世界の懸け橋"となる活動を具体的に取り組むことである。私たち委員会はその大切な目的に対して、少しでも多くの支援を行うことを第一に考え活動をしたいと思っております。



すべての活動は寄付によって成り立っております。そのためにも米山記念奨学会の活動をすべてのロータリー会員にご理解いただき、適切な寄付金を募ることが必要となります。今年度は開かれた行事を推進し、多くの方に活動の趣旨をご理解いただくよう努めたいと思っております。今後ともご理解ご協力をお願いいたします。

『青少年交換結団式・歓送会』

地区青少年交換委員会

委員長 遠藤 秀 樹

(足柄RC)



去る7月6日(土)。藤沢市相澤ビルにて2023-24年度、青少年交換留学生IBS(受入学生)の解団式、並びに2024-25年度、青少年交換留学生OBS(派遣学生)の結団式・歓送会を行いました。当日は佐々木ガバナー、松下ガバナーエレクト、中込ガバナーノミニ、杉岡パストガバナー(ホストファミリーとしてもご参加いただきました)、新井前青少年交換委員会委員長他、受入・派遣学生に関わるホストクラブカウンセラー、ホストファミリー、受入高校関係者など会場いっぱいの方々にご参加をいただきました。まずはこの日を迎えられることに対し、当日ご参加された方はもとよりたくさんの方々のお力添えがあったとのこと、感謝の念でいっぱいです。

さて、まずはIBSですが、帰国便の都合で既に3名は帰国の途についており、6名の学生に1年間を振り返るスピーチをしてもらいました。

日本に来て最初に驚いたことは気温と蒸し暑さであったこと。ホストファミリーと過ごした日々や旅行、誕生会。ホストクラブの方々が親切に接してくれたこと。3月に行われた京都研修旅行でIBSとの深い絆が生まれたこと。ROTEX行事に参加し、また毎月のオリエンテーションでROTEXの方々に大変お世話になったこと。第4グループのIMで行ったスピーチコンテストの思い出など短い時間では語りつくせない思いを語ってもらいました。

学生の語学力は1年間で格段に上達し、中にはあなたは日本人ですか?と聞き間違えるほどのレベルの学生もいました。多くの学生が「必ずどんな形でも日本に戻ってきたい。」と語ってくれたことは、私を含めた委員会メンバー、そして参加していただいた皆様の心に深く刻まれたのではないのでしょうか。

OBSにおいては昨年11月の選考試験から大きく成長した姿をみせてくれました。9名の学生が派遣国の言葉にて決意表明をしてもらいました。実際に派遣されるまでの約8か月間がどれほど大変だったのか、また充実した日々だったのか、そして多くの方々の期待に応えることができるよう決意を込めた一言一言に、大人たちは心動かされたのではないのでしょうか。青少年交換留学生にはこの経験を自らの人生の大きな糧としてもらい、周囲の人々にも良い影響を与え続け、そして自国の、そして世界のリーダーシップを各分野で発揮できる人材になってほしいと願います。

このプログラムは多くのロータリアンのお力添えなしでは成り立たないプログラムです。この場をお借りし皆様に深く感謝いたします。ありがとうございます。そして皆様のご理解が更に得られるよう委員会メンバー一同頑張っ活動いたしますので、今後ともよろしくお願いたします。

「子どもたちの未来に幸あれ。」



横須賀ロータリークラブ

会長 高橋 隆一

横須賀ロータリークラブは、115名のメンバーで今年度スタートします。例会は横須賀商工会議所に於いて毎週金曜日に行っており、例会場には8つのテーブルを設置して、テーブル毎にメンバーを割り振っています。3ヵ月に1回メンバーをシャッフルし、大人数ながらも色々なメンバーと交流が出来るような仕組みにしています（マジック①テーブルチェンジ）。更に、例会場だけでは時間に限りがあるため、テーブル毎に夜間会食の場を設けて、例会場では中々出来ない砕けた会話も行います（マジック②お酒のチカラ）。また、115名の会員の中には外国籍の方が3名います。アメリカ人のエリック会員・エノラ会員とネパール人のロクナト会員です。言葉や文化の違う3名との交流は毎回刺激的であります。不思議なもので、親睦を深めていくうちに国籍など関係なくなってきました。言葉の壁もありません（マジック③ナントカ伝わる）感性豊かな3名とのコミュニケーションは貴重な時間となります。そんなメンバーと世界を股にかけた奉仕活動が出来ればロータリーのマジックを行動で示すことが出来るはず（マジック④国際奉仕）。可能性は無限大！



横須賀北ロータリークラブ

会長 佐々木 佑倫

当クラブは海と山に囲まれ、温暖な三浦半島の付け根、横須賀の北部に位置しております。東京湾入り口に位置するため、江戸時代から国防の拠点とされてきました。

1961年、昭和36年12月チャーターメンバー26名で設立いたしました。多くの先人の叡智と弛まぬ努力、地元の方々の支えによって昭和、平成、令和と3世代60年以上の長きにわたり活動いたしております。設立から20年を迎えた頃、会員が作詞作曲をした『横須賀北ロータリクラブの歌』が誕生しました。郷土愛、奉仕の理想、世界平和を織り込んだ素晴らしい歌詞には、先人たちの思いが詰まった正にクラブ愛の賜であるこの歌を、私達は例会で歌い、思いを頂戴しながら現在活動を続けております。



近年では、会員数の減少、高齢化、コロナ禍による生活スタイルの変化は交流を重視するロータリー活動に大きな影響となりましたが、このような状況でも新たにスタートすることができました『横須賀未来の夢プロジェクト』を通じて青少年奉仕、またお祭りに参加し地域活性化を地元の皆様と一緒に活動しております。



横須賀北ロータリークラブの歌
 作詞 木村啓一 作曲 荒木元秋
 (一) 歴史のあかし燦然と
 千古の遺産夏島を
 誇りに集う兄弟
 共に作らん文化の輪
 (二) 自然の恵みふところに
 根ざす文化と相和して
 英智をこめた例会で
 共にそだてん人の輪を
 平和のあかり横須賀に
 奉仕の理想たかだかと
 強くかみあう歯車を
 (三) 人の和 国の和 世界の和
 ロータリーロータリー
 横須賀北クラブ
 ロータリーロータリー
 横須賀北クラブ
 ロータリーロータリー
 横須賀北クラブ



【横須賀未来の夢プロジェクト】野球教室開催

クラブ紹介

第1グループ

三浦ロータリークラブ

会長 長 島 満理子

1962年に創立された歴史ある三浦ロータリークラブの伝統を大切に、地域に根差した活動を引き続き行って参ります。また、多くの会員に恵まれていることを強みに、年齢や性別、入会年度にかかわらず、クラブ運営に取り組んで参ります。

例会では、地域貢献事業のさつまいも掘り例会など地域に必要とされる三浦ロータリークラブであるように継続して行います。また、夜間例会やロータリー情報などの研修会を定期的で開催し、会員同士の親睦と例会の出席率向上、会員増強に繋がるようにしていきます。

現在は多様化の時代であり、事業内容、福祉や奉仕など多様化されていきます。個の多様化を認めていながら、力強く継続して活動をしていきます。そしてロータリーマジックが起きる奉仕活動を実践していきます。



横須賀西ロータリークラブ

会長 桐ヶ谷 主 税

「ロータリーのマジック」を実践に示そう

私たちのクラブは少人数のクラブの為どの行事を行うにしてもクラブ員全員で動きます。それにより会員の団結が強くなり全員が友達感覚のクラブです。委員会は有りますが、クラブ員全員がどこかの委員長であり、その委員長が担当の時はクラブ員全員がその委員会員になります。自慢①は出席率です。すべて100%例会とはいきませんがほぼ100%の例会です。もちろんメーキャップを使いますが当クラブは2週間以内のメーキャップ制を今でも用いています。②は地区への色々な分担金100%を行っています。③年間行事は多彩で、養護施設の子とのバーベキュー・スイカ割大会、献血活動、クリスマス家族会、年4回のゴルフ会、年4回の夜間移動例会、チャリティコンサートの開催。これらは年間行事として事業計画の柱として組み込み、その他その年の特色を持たせた行事を組み込みます。

今年は新入会員が増えた為、他クラブへのメーキャップ、米山記念館視察と、京都旅行を企画しています。「ロータリーのマジック」は如何にクラブ会員同士が仲良くロータリー活動が出来るかだと思います。今の楽しいクラブ活動こそがロータリーのマジックだと考えています。



チャリティIA



クリスマス会

横須賀南西ロータリークラブ

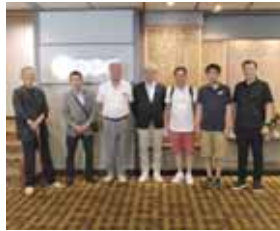
会長 宮本清志

横須賀南西ロータリークラブは3年後に50周年を迎えることとなり、目標を定め、クラブの基盤を整備し、継続的な活動を実施していかなければなりません。昨年度の会員増強も女性会員含め4名の増強が出来、今年度も3名の増強を目標に活動して行きたいと思えます。地区目標のテーマの“ロータリーのマジックを行動で示そう”を理解し、奉仕活動や募金、寄付を進んで行き、より良いクラブの発展と地域活性化に貢献して行きたいと思えます。クラブ会員相互が真に信頼できる仲間であり、共に協力しあえる、明るいクラブであることを土台に、日常の例会を充実させ、親睦を計り、委員会の活動は会員全員参加で行い、必要な研修を適時行って、地のクラブらしい新たな特色を見出していくことを実現していきたいと思えます。



今年度、地区方針は「ロータリーのマジックを行動で示そう！」と方針を掲げております。活動の方針は我々会員が行動を起こし、プロジェクトを行い、募金や寄付を行うことによりマジックが起こると信じます。RI会長が掲げた“マジック”とは何かわかりませんでした、ロータリーが行動することでマジックを起こすこと。と理解しました。

今年度、クラブで奉仕活動でも“マジック”を起こす活動を実施したいと思えます。



新会員紹介 ①所属 ②入会日 ③職業分類 ④スポンサー



こいけ みき
小池 美樹
①ふじさわ湘南
②2024. 02. 26
③美容業
④長岡 寛一、
黒川 真



よしだ じゅんいち
吉田 淳一
①平塚湘南
②2024. 03. 01
③不動産投資
④品田 雄一



ふくしま だいすけ
福島 大介
①逗子
②2024. 05. 01
③証券業
④横山 健



なかがわ しんいちろう
仲川 慎一郎
①平塚北
②2024. 06. 04
③銀行業
④真壁 佐一



みずしま さとこ
水島 聡子
①平塚湘南
②2024. 06. 01
③食品小売業
④古木紳一郎



たかはし きみこ
高橋 公子
①相模原かめりあ
②2024. 06. 15
③不動産業
④吉屋 敬、
白幡 裕子



たかせき とおる
高堰 徹
①海老名
②2024. 06. 17
③建設業
④塩脇 憲一



よしだ くみこ
吉田 久美子
①横須賀
②2024. 06. 21
③放送事業
④鈴木 孝博



おちあい えつこ
落合 悦子
①相模原かめりあ
②2024. 06. 25
③医療看護
④田島富美子、
白幡 裕子



わたなべ たかし
渡邊 享志
①相模原西
②2024. 06. 26
③保険代理業
④大河原幸夫、
菅野 孝司



しまざき ひでゆき
島崎 英之
①茅ヶ崎
②2024. 06. 27
③建築設計
④平賀 裕祥、
杉本 剛昭



おざわ かよこ
小澤 加代子
①相模原かめりあ
②2024. 06. 30
③パレスタジオ主宰
④白幡 裕子、
横山 真琴

新会員紹介 ①所属 ②入会日 ③職業分類 ④スポンサー



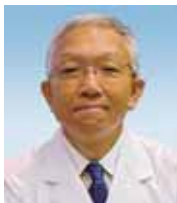
たじま ふみこ
田島 富美子
①相模原かめりあ
②2024. 06. 30
③小児科医
④白幡 裕子、
鎌田えり子



てしば よういち
手柴 陽一
①鎌倉大船
②2024. 07. 01
③普通銀行
④石井昭二郎



とやま あきのり
登山 明典
①海老名
②2024. 07. 01
③生命保険業
④葛野 耕司



かわな いちろう
川名 一朗
①足柄
②2024. 07. 01
③病院
④飛弾 康則



くろいわ じんたろう
黒岩 陣太郎
①足柄
②2024. 07. 01
③中古自動車
④井上 勝典



さかた じゅんこ
坂田 淳子
①足柄
②2024. 07. 01
③経営コンサルタント
④湯川 謙吾



ふるや さとこ
古谷 聡子
①足柄
②2024. 07. 01
③保険
④永田 準一



みうら かずのり
三浦 千典
①足柄
②2024. 07. 01
③自動車整備工場
④山地 裕昭



なかやま しょうたろう
中山 正太郎
①相模原南
②2024. 07. 02
③総合建設
④鈴木 晴澄、
小林大二郎



そえだ けんいち
添田 健一
①平塚北
②2024. 07. 02
③塗装業
④真壁 佐一



さとう たかゆき
佐藤 貴行
①小田原城北
②2024. 07. 02
③金融事業
④一寸木芳行



かしわぎ あきひこ
柏木 明彦
①平塚西
②2024. 07. 03
③自動車修理業
④近藤 直樹



なかの ゆたか
中野 豊
①平塚
②2024. 07. 04
③生命保険業
④小林 誠、
柳川 信男



なかがわ ひろあき
中川 博昭
①平塚北
②2024. 07. 04
③保険代理店
④梅原 謙司



まつい たかお
松井 孝夫
①海老名
②2024. 07. 08
③運動指導
④吉野谷 岳

●事務局交代のお知らせ●

・綾瀬ロータリークラブ

事務局交代日 8月1日(木)
事務局員氏名 飯田 千明
出勤日時 月～金曜日
10時～16時

訃報 ご冥福をお祈り致します



やまぐち みつまさ
山口 光正 (厚木中)
2024年6月22日逝去
(享年70歳)
1989年1月10日入会
2022～23年度 クラブ会長
PHF5
第7回米山功労者



しみず まさひろ
清水 雅広 (平塚)
2024年6月22日逝去
(享年60歳)
2005年8月11日入会
2022～23年度 クラブ会長
ベネファクター
マルチプル・フェロー1
第2回米山功労者



ふるかわ たけのり
古川 武法 (小田原)
2024年6月28日逝去
(享年75歳)
1990年2月5日入会
2008～09年度 クラブ会長
ポールハリスマルチフェロー(6回)
ベネファクター
第8回米山功労者



まえかわ よしのり
前川 義憲 (茅ヶ崎中央)
2024年7月6日逝去
(享年77歳)
1984年3月入会
2002～03年度 クラブ会長
マルチプルポールハリスフェロー
第5回米山功労者マルチプル

第2780地区 2024年6月末 会員数

グループ	クラブ名	例 会 数	会 員 数										
			6月末		年 初 7月1日		本年度 入会者		本年度 退会者		本年度 増減		
			男女 合計	女性 会員	男女 合計	女性 会員	男女 合計	女性 会員	男女 合計	女性 会員	男女 合計	女性 会員	
1	横 須 賀	4	115	16	120	16	6	2	11	2	-5	0	
	横 須 賀 北	3	20	5	18	5	3	0	1	0	2	0	
	三	4	57	5	59	6	4	0	6	1	-2	-1	
	横 須 賀 西	4	15	0	12	0	3	0	0	0	3	0	
	横 須 賀 南 西	4	15	2	14	1	2	1	1	0	1	1	
	横 須 賀 RAC	2	8	1	9	2	1	0	2	1	-1	-1	
	計		230	29	232	30	19	3	21	4	-2	-1	
	R C 合計		222	28	223	28	18	3	19	3	-1	0	
	R A C 合計		8	1	9	2	1	0	2	1	-1	-1	
	2	鎌 倉	5	68	12	75	14	4	1	11	3	-7	-2
逗 子		3	39	6	39	5	6	2	6	1	0	1	
鎌 倉 大 船		4	13	0	15	0	0	0	2	0	-2	0	
葉 山		3	17	4	18	4	2	0	3	0	-1	0	
鎌 倉 中 央		2	14	5	20	8	0	0	6	3	-6	-3	
鎌 倉 RAC		2	12	9	9	6	3	3	0	0	3	3	
計			163	36	176	37	15	6	28	7	-13	-1	
R C 合計			151	27	167	31	12	3	28	7	-16	-4	
R A C 合計			12	9	9	6	3	3	0	0	3	3	
3		藤 沢	4	40	10	41	11	9	1	10	2	-1	-1
	藤 沢 西	3	19	1	17	1	3	0	1	0	2	0	
	藤 沢 東	3	28	6	29	7	2	0	3	1	-1	-1	
	藤 沢 北 西	2	13	2	16	1	2	1	5	0	-3	1	
	藤 沢 南	4	45	8	46	8	2	0	3	0	-1	0	
	藤沢南デスカバーローター衛星	2	22	3	16	2	7	1	1	0	6	1	
	ふじさわ湘南	3	34	1	34	1	3	1	3	1	0	0	
	かながわ湘南	3	19	12	20	12	0	0	1	0	-1	0	
	アークス湘南	3	3	2	3	2	0	0	0	0	0	0	
	イノベーショントウェイ湘南	2	39	4	44	4	4	1	9	1	-5	0	
かながわ DEI	1	20	4	25	8	4	0	9	4	-5	-4		
計		282	53	291	57	36	5	45	9	-9	-4		
4	茅 ヶ 崎	4	46	5	45	5	5	0	4	0	1	0	
	寒 川	3	37	3	35	2	4	1	2	0	2	1	
	綾 瀬	4	37	1	36	0	6	1	5	0	1	1	
	茅 ヶ 崎 湘 南	4	42	1	42	1	1	0	1	0	0	0	
	茅 ヶ 崎 中 央	4	49	2	49	2	4	0	4	0	0	0	
	綾 瀬 春 日	4	25	0	24	0	3	0	2	0	1	0	
	計		236	12	231	10	23	2	18	0	5	2	
	5A	相 模 原	4	66	8	64	6	6	2	4	0	2	2
		相模原グリーン	3	45	4	44	3	2	1	1	0	1	1
		津 久 井 中 央	4	24	4	24	4	1	0	1	0	0	0
相 模 原 橋 本		4	70	9	69	10	6	1	5	2	1	-1	
相模原ニューシティ		2	45	6	48	7	1	1	4	2	-3	-1	
相模原おださが		2	30	2	33	1	3	1	6	0	-3	1	
相 模 原 RAC		2	32	13	20	9	13	5	1	1	12	4	
計			445	46	449	44	40	10	26	10	11	10	
R C 合計			471	85	471	80	39	14	39	9	0	5	
R A C 合計			32	13	20	9	13	5	1	1	12	4	
5B	相 模 原 南	4	45	9	46	9	4	0	5	0	-1	0	
	相 模 原 中	4	28	4	28	4	1	0	1	0	0	0	
	相 模 原 西	4	39	3	42	5	1	0	4	2	-3	-2	
	相模原西令和大野ローター衛星	2	6	2	7	2	2	1	3	1	-1	0	
	相 模 原 東	2	16	2	18	4	1	0	3	2	-2	-2	
	相 模 原 柴 胡	4	25	3	26	3	1	0	2	0	-1	0	
	相 模 原 か め り あ	2	32	29	22	10	7	0	0	10	0	7	
	計		503	98	491	89	52	19	40	10	12	9	
	R C 合計		471	85	471	80	39	14	39	9	0	5	
	R A C 合計		32	13	20	9	13	5	1	1	12	4	

地区内クラブ		地区内会員総数(人)			
RC	67	RC	2,299 (300)		
RAC	5	RAC	61 (26)		
()内は 女性会員					
本年度入会者数(人)		本年度退会者数(人)		本年度会員数増減数(人)	
RC	203 (34)	RC	249 (41)	RC	-46 (-7)
RAC	20 (10)	RAC	5 (3)	RAC	15 (7)

ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2780

2024~2025 Governor

Tatsuro Sasaki

OFFICE / Aizawa Bldg. #1, 5F,
22-7-501 Minami-Fujisawa,
Fujisawa-city, Kanagawa
251-0055 JAPAN
Tel: +81-466-25-8855 Fax: +81-466-25-8866



2024~2025年度ガバナー

佐々木 辰郎

事務所 / 〒251-0055
藤沢市南藤沢22-7-501 第一相澤ビル5階
Tel: 0466-25-8855 Fax: 0466-25-8866
E-mail: g-office@rid2780.gr.jp
URL: https://rid2780.gr.jp